

自然大好き ねいの里だより

60

秋冬の風景

ねいの里の自動撮影カメラには、温度計が付いていて、撮影時刻の温度を記録します。

上の写真は12月上旬の風景。紅葉は最低気温が5度以下になると始まるようですが、ねいの里では、11月下旬に最低気温が5度以下になり、

コナラの林は黄色に変わります。その後、葉は枯れて地面に落ちるので、枝や幹は枯れるわけではありません。暗くて寒い日が続く冬には、多くの植物は葉の中で栄養分を作る働きを止め、エネルギーを節約するために葉を落とし、眠るようになっています。

エネルギー蓄える植物

下の写真は1月下旬の風景。



コナラの林が黄色に染まる

|| 2015年12月9日



朝の気温がマイナス6度を記録する

|| 2016年1月25日

朝の気温はマイナス6度。寒さに凍えそうな林ですが、コナラは体の中しっかりとエネルギーを蓄えて、やがてくる春を静かに待っています。秋から冬は、植物がエネルギーを節約しながら、ひと休みする季節です。

(赤座久明)